



市役所周辺の防災機能

# 災害時の避難に安心を

市民安全課 ☎(88)9185

近年、全国各地で地震や大雨による災害が多発しています。そうした災害に対応するため、市役所敷地内には、避難時の防災機能を備えています。

## 災害時に備える4つの機能

### ①防災広場

庁舎西側の防災広場は、災害時の一時避難場所や物資の受け入れ場所として活用できます。

平時時は「市民の憩いの場」としてご利用ください。

### ②マンホールトイレ

防災広場に5箇所設置しており、災害時に水洗トイレを設営します。

### ④耐震性緊急貯水槽

庁舎雨水タンクの水を使用するため、断水時でも利用することができま

### ③かまどベンチ

電気やガスなどが使用できないときに炊き出しをするためのかまどを、防災広場に2箇所設置しています。

平時時はベンチとして活用しています。

断水が発生した際、市民の皆さんに飲料水を提供できるように、庁舎敷地内に貯水槽を2箇所設置しており、合計100トの水を常時確保しています。

また、確保している水量は異なりますが、市内各所に同様の設備を設置しています。

## 届けエール！元気になる花火

# 秋の夜空に 明るい未来を

釈迦堂川花火大会実行委員会事務局(観光交流課内) ☎(88)9144



本市の夏の風物詩である「釈迦堂川花火大会」は、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、開催を中止しました。今年は東日本大震災から10年という節目の年であり、コロナ禍の困難な状況の中でも明るい未来を照らしたいという思いから、市民や医療従事者の皆さんへ贈る「届けエール！元気になる花火」を打ち上げます。



花火は慰霊や疫病退散が由来とされています

**日時** 10月2日(土) 午後6時30分から7時30分までの間で10分程度  
**打ち上げ場所** 市内5カ所  
※感染防止のため、観覧席を設けず、具体的な開催時刻や場所などは非公表とします。また、交通規制、露店出店などはありません。

詳しくは、市ホームページなどで随時お知らせします。

その他 風などの影響で、近隣宅地などに花火の殻が落ちることがあります。ご理解いただき、回収にご協力ください。

## 感染症対策を守って ご覧ください

できる限り自宅などで観覧し、マスクを着用して会話を控えるなど感染対策をしながら、花火をお楽しみください。

なお、次の人は自宅以外での観覧をご遠慮ください。

- ▼2週間以内に海外渡航歴がある人
- ▼新型コロナウイルス感染症に感染、または濃厚接触者と判断されている人
- ▼37.5度以上の発熱がある人
- ▼せき・頭痛・体のだるさ・喉の痛みなどの風邪のような症状、味覚や嗅覚の異常や食欲不振などの体調不良が感じられる人
- ▼同居者に前述の症状がみられる人



「届けエール！元気になる花火」

## 令和3年度須賀川市防災訓練を行います

市民の防災意識を高め、災害時における防災関係機関の協力体制を確立するため、実践的な訓練を行います。

**日時** 9月26日(日) 午前9時

**会場** 市役所

**内容** 職員非常招集訓練、災害対策本部机上訓練、防災情報発信訓練、消防団・消防署による中継放水訓練、耐震性緊急貯水槽稼働訓練など

**その他** 当日は、市役所駐車場への進入を規制します。また、消防団・消防署による中継放水訓練に伴い市役所周辺道路の交通規制を行いますので、ご理解とご協力をお願いします。

訓練当日は、防災行政無線での放送やSNS上での情報発信を行いますが、実際に災害が発生しているわけではありませんので、ご注意ください。

☎市民安全課 ☎(88)9185



## 地域おこし協力隊 須賀川の魅力をSNSで発信中！

若月正孝さん(令和元年着任)

コミュニティプラザで観光案内をしています。県内外の皆さんに、観光資源が豊富なこのすばらしい須賀川の魅力をお伝えします。



Facebook



Twitter



大久保萌子さん(令和3年着任)

インスタグラムを活用して須賀川の魅力を発信しています。また、市の特産品を使った商品開発に携わり、地域おこしに取り組んでいます。



Instagram



☎市観光物産振興協会(観光交流課内) ☎(88)9144



特撮に関する情報をシリーズでお知らせします。

☎観光交流課 ☎(88)9144

## 市民の健康を見守るウルトラの母

本市を象徴する観光スポットの一つであるウルトラヒーローや怪獣たちのモニュメント。撮影スポットとして、多くの人に親しまれています。その中の一つ、ウルトラの母のモニュメントを紹介します。

ウルトラの母のモニュメントは、公立岩瀬病院を見守るように立っています。ウルトラの母は、ウルトラマンたちが属する「宇宙警備隊」を助け、宇宙規模の医療活動に従事する「銀十字軍」の隊長を務めています。そのことから、市民の健康を見守ってほしいという願いを込めて、この場所に設置されました。



©円谷プロ